

超高齢社会の考現学

—「一切しらべ」の学際性と応用性—

「社会の多様性を理解する」というフレーズは、しばしば見かけますが、それが難しいことは周知の事実です。同じ社会に暮らしているにも関わらず、地域性や世代、ジェンダーなどの属性によって、様々な「当たり前」が存在しているからでしょう。

今回、本学非常勤講師の濱千代 早由美先生に、超高齢社会におけるフィールドワークの手がかりとして、大正末期に今和次郎らによって提唱された「考現学」の手法をご紹介します。その手法は、歩く・観察・記録・採集収集といった、誰にでもできるシンプルなもの、学生の学びにとっても極めて有効なものです。講演後、ワークショップを通して、その一端を体験していただく予定です。

お忙しい中とは思いますが、どうぞ奮ってご参加下さい。

2019年 **2月28日** (木) 15時より

場所：帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス 16号館6階16601教室
(近鉄奈良線「学園前」駅から徒歩2分)

【プログラム】

14:30 受付開始

15:00 開会

ごあいさつ：シンポジウム開催の経緯

15:10 「一切しらべ」の学際性と応用性

濱千代 早由美 氏(帝塚山大学 非常勤講師)

15:40 ワークショップ：超高齢社会の考現学

16:40 フリーディスカッション

17:00 閉会 (2次会を用意しております。)

◆ 参加申込方法：どなたでも参加できます(参加費無料)

◆ お問い合わせ：Eメール jinkanken@gmail.com 帝塚山大学 柳宛